

「関西電力グループ長期成長戦略2030」の骨子

1. はじめに

長期的に低炭素社会への流れの加速、資源高・資源制約など、これまでの延長線上では対応できないような大きな経営環境の変化が予想されるが、関西電力グループは、お客さまと社会の未来を見つめて、変わらぬ使命のために、変わり続けていく。

2. 長期成長戦略の位置づけ

経営環境の変化を念頭におき、「関西電力グループ経営ビジョン」（平成16年3月策定）に掲げた「お客さま満足 No.1 企業」をより具体化したもの。

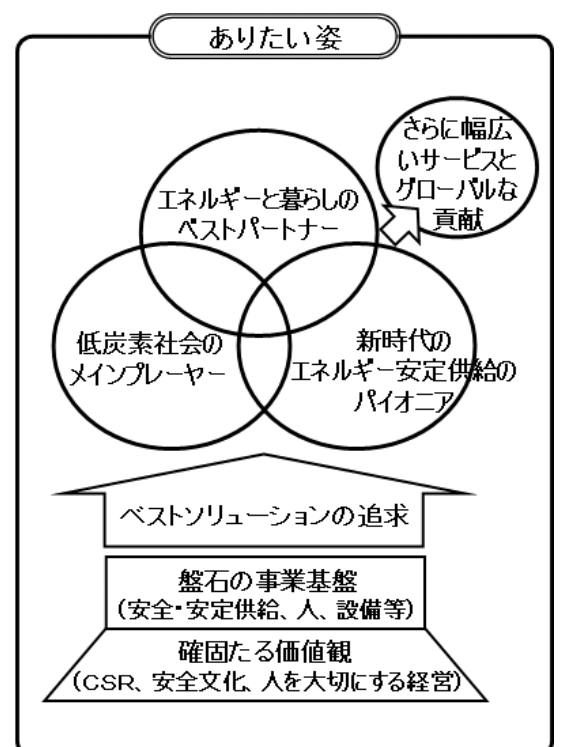
3. 経営環境認識

地球環境問題や資源調達の方での変化の一方で、省CO₂、安心、便利といった新たなお客さまニーズ、わが国の電力会社へのグローバルな期待の高まりなど、新しいビジネスチャンスも出てくることが予想される。

4. 2030年にありたい姿

まず、CSR、安全文化、人を大切にする経営といった確固たる価値観と、電気の安全・安定供給、人、設備等といった盤石の事業基盤がある企業グループでありたい。

その上で、「低炭素社会のメインプレーヤー」、「新時代のエネルギー安定供給のパイオニア」、「エネルギーと暮らしのベストパートナー」として、お客さまと社会にとってのベストソリューションを第一に追求し、より多くの皆さまにさらなるご満足をいただくことを目指す。



5. たゆまぬ努力と5つの挑戦

(1) たゆまぬ努力

CSR、安全文化、人を大切にする経営といった確固たる価値観と、電気の安全・安定供給、人、設備等といった盤石の事業基盤に向けて、たゆまぬ努力を続ける。

(2) 5つの挑戦

これまでの延長線上にないレベルに向けて、5つの挑戦を行う。

- ①「低炭素社会のメインプレーヤー」への挑戦
- ②「新時代のエネルギー安定供給のパイオニア」への挑戦
- ③「エネルギーと暮らしのベストパートナー」への挑戦
- ④「グループ事業、国際事業の飛躍的な成長」への挑戦
- ⑤「社会とともに歩む長期成長経営」への挑戦

6. 人づくり

従業員一人ひとりが夢と誇りを持って仕事に取り組み、成長を成し遂げ、その成長によって関西電力グループが成長し、それがさらに従業員のやる気・やりがいを高めていくという好循環を継続する。

7. 技術開発

真に価値ある最先端技術を見極め、グループ全体の成長を支えるための技術開発や低炭素社会の実現に寄与する技術開発を推進する。

8. 2030年におけるイメージ

(1) 定量的なイメージ

		2030年
販売電力量（国内+海外）		1,800億kWh以上
経常利益（連結）		現状の約2倍
電気事業	販売電力量	1,600億kWh以上
	非化石電源比率	約6～7割
グループ事業	外売上高	現状の2倍以上
国際事業	出力（販売電力量）	約500万kW（約200億kWh） +強みを生かしたグローバルな貢献

(2) 企業グループ像

「エネルギー&サービスでグローバルにも発展する関西電力グループ」として、お客さまと社会にとってのベストソリューションを第一に追求し、より多くの皆さまにさらなるご満足をいただく。

「関西とともに生き、ともに発展する関西電力グループ」として、関西を最も魅力あるエリアにすることに貢献する。

当社グループの成長が、お客さまや社会の発展、関西、日本、世界の明るい未来につながる姿を目指す。